

第2回 代表者研修会報告

日時：令和6年10月8日（火）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：秋澤副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会

中島由紀江 会長

(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

田中 浩美 校長（中島会長代読）

(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

今年度の養護教員講習会及び養護教諭夏季研修会は、開催日前日の「南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意」の発令により中止となった。

対応については、本日市教委あて発出済みの教健第552号ー2を参照。

所管事項については、YouTubeによる動画視聴とする。動画は約12分。視聴期間は、本日10月8日～11月22日（金）まで。注意点を確認し、期間内に視聴する。

来年度の養護教員講習会は、令和7年8月8日（金）グランシップ中ホールにて行う。講義は、本年度予定していた「ヤングケアラー」の内容とする予定。

(4) 静岡県学校保健会 （資料配布済み）

山崎 優志 事務局長

今年度の本会における事業の進捗状況についての報告。

- ・学校歯科保健と学校環境衛生活動に関する調査へのお礼。
- ・WEB回答も定着してきたが、まだ一部エラー（送信されていない事例）が発生しているため、改善していきたい。
- ・表彰事業については、令和6年10月3日（木）審査委員会で各部門の表彰の対象者、学校を決定。該当校へは令和6年10月9日（水）以降メールで各地区の学校保健会を通して知らせる。
- ・関東甲信越静学校保健大会は、令和6年8月1日（木）に東京都で開催された。静岡県からは、磐田市立南部中学校の上村綾養護教諭に、「命の教育」について実践発表してもらった。また、東京都医師会作成の健康教育用スライドが、とても分かりやすいので、参考にしてほしい。
令和7年度は8月7日に、千葉県大会が行われる。
令和8年度（8月6日）は、静岡県が主催となっている。
- ・第62回静岡県学校保健研究大会は、令和6年11月21日（木）にハイブリット形式で開催。
- ・第46回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会は、発表校の都合で紙上発表となる。実践についてまとめたものをPDF形式で配布できるように準備する。
- ・第53回学校保健新聞コンクールの締め切りは令和6年11月15日（金）。
現在3校が提出。奮って応募してほしい。

2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

<所管事項>

養護教員講習会の資料として送付したものから、追加した内容について伝える。

※以下のページと番号は、所管事項資料のもの

P7 中段 「がん教育に関する内容」

「⑤学校における外部講師を活用したがん教育の推進について」

令和5年度の文部科学省「がん教育の実施状況調査」の結果を追記している。

静岡県で外部講師を活用したがん教育を行った学校は、令和5年度19.1%で上昇しているが、まだ低い状態。令和6年1月24日付け教健第871号の2「学校におけるがん教育の手引」等を参考に外部講師を活用したがん教育の推進をお願いしたい。

外部講師を活用したがん教育の活用については、令和6年11月25日(月)午後、グランシップにて「がん教育研修会」を行う。今後、通知を発出するので、希望する場合は申込みが必要となる。内容は外部講師を活用した、「がん教育の進め方や外部講師(がん経験者)の方とのグループワーク等」を計画している。がん経験者の方から話を聞いて、学校のがん教育の推進に活かしてほしい。

P8 「3 その他」 下から3つ目

新たに「令和3～5年度児童生徒の近視実態調査 調査結果報告書」が、文部科学省ホームページに掲載された。

P8 「3 その他」 一番下

令和6年7月31日付け文部科学省事務連絡、令和6年8月26日付け健康体育課号外にてお知らせしたが、「子供の目の健康を守るための啓発資料②」が作成され、文部科学省ホームページに掲載されているので、活用してほしい。

P9 「参考」 学校保健に関する書籍・資料

新たに発行されたもの

「学校における薬品管理マニュアル」→令和4年度改訂版が発行されたばかりだが、新たに「追補版」が発行された。この追補版では、リスクアセスメント対象物やグルカゴン点鼻粉末薬(バクスミー)の取扱い等の情報が、更新されている。

冊子は、順次送付される。

現在、日本学校保健会ホームページからダウンロード可能。

3 議事

(資料 配付済み)

(1) 令和6年度静岡県養護教諭夏季研修会の反省

中島会長

- ・夏季研修会の中止は、緊急時連絡体制に則って行った。

中止とした根拠は資料の太枠2か所。

- ・令和7年度夏季研修会は、令和7年8月8日(金)、場所はグランシップ。

講師は本年度予定していた獨協医科大学 井上建准教授を予定している。

(2) 令和6年度静岡県養護教諭冬季研修会

中島会長

- ・冬季研修会は、オンデマンド方式で開催する。

- ・講師は、東京成徳大学 石隈利紀教授。
- ・内容は、生徒指導提要について講演していただく。
- ・受講方法、受講期間については要項の通り。

(3) 各委員会の報告

① 会誌「たちばな 67 号」編集報告

飛田委員長

- ・12月初旬の発刊に向けて進めている。
- ・仕様は72ページ 1冊600円で販売する。原稿執筆者、たちばな編集委員については贈呈する。
- ・「知りたい 聞きたい」のコーナーは、たちばな編集委員の在籍する地区の先生方に協力していただき、新型コロナウイルス感染症5類移行後の様子についてまとめている。
- ・申込みの文書は各地区理事から会員に配付し、令和6年11月5日（火）までに委員長に届くように回収する。※申込期日は各地区理事が設定する。
- ・委員長への提出は、FAX またはメールで申し込む。
- ・原稿執筆者、編集委員の贈呈分は、申込書には記入しない。
- ・12月初旬には、完成した冊子を各地区へ届ける予定。各地区理事には、会員、教育委員会等関係機関への冊子の発送、原稿執筆者へのお礼状の発送をお願いしたい。

② 「実践事例集 19」編集報告

秋澤委員長

- ・「実践事例集 13 学校組織で取り組む危機管理」をバージョンアップしたものとする。
- ・「実践事例集 19」では“「学校組織」「チーム」「みんなで」子供たちの命を守る”をキーワードに、県下で起きたヒヤリハット事例から学び、幅広く活用できる事例集を目指す。
- ・事例提供のお願い。対象は全会員。回答方法はGoogle フォーム。質問内容は資料1のとおり。事例回収後は、役員で集約し、掲載する事例の選定を行う。
- ・近日中に理事へ依頼文、アンケートのQRコードを送るので、会員に転送してほしい。

③ 調査研究「実態調査」結果報告

竹嶋委員長

- ・令和6年度の実態調査に向けて、準備を進めている。(R7.3 実施)

令和5年度フォームでのテスト入力より

【フォームのメリット】

- ・エクセルがないパソコンやスマホからでも、回答できる。
- ・数値やその他の内容以外は、簡単に入力できる。送信が簡単。
- ・地区理事のチェック作業が、ない。

【フォームのデメリット】

- ・起案する際、印刷すると膨大な量になる。
- ・「選択肢がない」などの入力ができないことがあったとき、次の質問に進めない。
- ・今の質問項目のまま回答すると、回答データが一斉に集計されるため、確認作業に莫大な時間がかかる。確認時期は春休み前後となるため、異動や年度末の事務処理であわただしい時期と重なる。→今の状況では正確なデータが取れない、蓄積されているデータとの整合性が保てない可能性がある。

【エクセルでの回答にする理由】

- ・現在使用しているエクセル版は、エラーチェックがきちんとできている。
- ・会員すべてのデータが、調査研究委員会に届く前に、理事に確認作業をしてもらうことで正確なデータが集まる。

※令和6年度は、今まで通りエクセルで回答。詳細は第3回の代表者会で説明。

<令和5年度 実態調査解説>

P 2 会員数、学校数

- ・令和2年度から学校の統廃合により会員数、学校数が減っている。この10年間で学校数が31校、小中学生が34,972人減少している。

P 3、4 年齢、経験年数

- ・年齢では小学校より中学校のほうが高く、経験年数も中学校が長い。
- ・年齢分布は50代以上が最も多く、次いで30代、40代、20代となっている。40代以上の占める割合が全体の半分以上。
- ・経験年数0～9年、10～19年、30年以上の経験者が200人以上に対し、20～29年は145人にとどまる。

P 5、6 免許取得状況

- ・一種免許取得者は20代、30代、50代が共に85%を超えている。
- ・20～30代に一種取得免許取得者が多いのは、大学養成機関で取得してきた養護教諭が多いからだと思われる。50代以上は、平成8年度から開催されていた認定講習において取得したため、と思われる。
- ・一種免許取得希望者が多いため、認定講習の再開を研究会として要望していきたい。

P 7 保健主事任用状況

- ・平成7年度に制度が改正され、保健主事任用が増したが、その後は横ばい。

P 8～10 校内組織体制

- ・健康教育の校内組織体制は、ここ数年充実してきている。しかし、「組織なし」も依然として2.0%ある。
- ・健康教育以外の所属率は地域や校種に差がみられるため、各地区で確認してほしい。

P 11、12 保健室、校内の施設・設備

- ・特別教室の空調設備の設置状況については、2年目の調査。
- ・扇風機だけの学校が県全体で小学校31.5%、中学校35.6%。特に静岡、浜松地区は、扇風機だけの学校が半数を超えており、早急なエアコン設置が望まれる。
- ・今後は体育館の空調設置調査も、調査していきたい。

P 13～15 保健学習、保健指導の実施状況

- ・時間の確保が難しい中、工夫して実施している。

P 16～18 保健室、別室登校

- ・中学校保健室登校は減少傾向。別室で過ごす児童生徒の割合や人数から、集団に

適応しづらくなっている児童生徒は、年々増加していることがわかる。

P 22 保健室登校児童生徒に対する支援内容

- ・校内支援体制の中で見ると、養護教諭はコーディネーター的役割が大きい。

P 24 心の健康に問題を抱える児童生徒への支援

- ・心の健康に問題を抱える児童生徒へ支援した学校は、小学校 92%、中学校 96%、すべての地区で小学校より中学校のほうが高い。
- ・小学校は 6 年前と比較すると 10%増加している。

P 27～31 いじめ、虐待、教職員の保健室利用

- ・「学校全体」「チーム学校」「一人で抱えない」「気づきを大切にする」「教職員とのコミュニケーションを大切に」しながら指導にあたることが大事。

P 32～33 危機管理

- ・「一次救命実技」「アレルギー対応」の実施率が高い。
- ・緊急時に適切な対応ができるよう、様々な事態を想定した校内研修を毎年実施していく必要がある。

P 36～ 個人基本調査

- ・複数配置校は県全体で 34 校。
- ・複数配置希望率は、児童生徒数が 250 人を超えると上がる。小学校では 550 人以上、中学校では 650 人以上になると半数以上の学校が複数配置を希望している。文科省の定める配置基準と希望率が、大きくかけ離れていることがわかる。
- ・来室者が少なくても複数配置の希望があり、一人一人丁寧な対応をしたいと望んでいることがわかる。
- ・生徒の実態に応じた、弾力的な複数配置や支援体制の充実が望まれている。

P 40～ 資質の向上

- ・ICT の活用は、R 4 年度から約 30%以上増加した。

※結果は会誌「たちばな」やホームページにも掲載する。

- ※地区理事へお願い
- ・養護教諭採用条件について、地区ごとの採用状況の確認。
 - ・会員から集めた貴重なデータであるため、地区の実情に合わせて伝達をしてほしい。

④ ホームページアップ状況

秋定委員長

- ・静岡県養護教諭夏季研集会が中止になったため、編集委員会も中止になった。次回は 12 月の予定。冬季研の記録、報告書の作成をしていく。
- ・現在、静岡県養護教諭研究会会員の実態、養護教諭配置一覧、第 1 回代表者研修会報告などがアップされている。
- ・作業中の項目は、保健室訪問のところ。依頼校学校長あてに依頼文書を発送し、承諾書が戻ってきているところ。
- ・今後は、令和 5 年度実態調査結果、第 2 回、第 3 回代表者研修会報告などを掲載していく。
- ・11 月中旬に新しいホームページに移行する予定。そのため、会員限定ページのパス

ワードも新しくする。12月に発行予定のたちばなに、新しいパスワードと新QRコードを載せるよう調整している。

- ・ 今後は、きんもくせいにも新しいホームページのQRコードを載せPRをし、簡単にアクセスできるようにする。

(4) 令和6年度静岡県養護教諭研究会活動反省について

佐野事務局

- ・ 今年度は、学校長宛文書を付けて発送することにした。
- ・ 内容は記述の部分を減らし、実態調査と被るところは省略した。
- ・ 理事は地区会員全員が回答したことを確認し、令和6年12月24日(火)までに事務局へ報告する。(配布回収スケジュールは活動反省6の通り)

4 連絡事項

(1) 会報「きんもくせい」について

関口書記

- ・ 本日、きんもくせい141号を発行した。
- ・ きんもくせい142号は、2月発行予定である。地区紹介は、賀茂地区と浜松地区になっている。

(2) 会員名簿について

関口書記

- ・ 5月に磐周地区で1校、6月に富士地区、榛原地区で各1校、複数配置となり、現在の会員数は760名となっている。
- ・ 複数配置等で地区の会員数の変更があった場合は、担当へ電話で報告をする。

(3) 会計より

小池会計

- ・ 文書の訂正(会計1) 会誌たちばな65号の代金→会誌たちばな67号の代金
- ・ 会誌「たちばな」代金は、地区ごとにまとめて令和7年1月14日(火)までに振り込む。
- ・ 「請求書、領収書形式についての報告書」「代金入金報告書」も提出する。

(4) 事務局より 理事依頼事項について

佐野事務局

- ・ きんもくせい等、必要な文書は事務局から理事に令和6年10月9日(水)発送。会員へ転送する文書に注意。
- ・ 一覧を確認し、期日を守って提出してほしい。
- ・ 「瑞星」第14号の申し込み、瑞星編集だよりも会員へ紹介。

(5) 各地区から

Q 学校保健に関する通知・書籍・資料等について

県教委の文書を参考に保管しているが、改訂され新しくなった文書や書籍が載っておらず、改訂前のものが載っていることがある。改訂前のものはどのように扱えば良いか教えていただきたい。(東豆)

A 富田教育主幹回答

今後、事務局より会員に最新のデータを送付していただく。改訂前の通知の取扱いについては、各市町で文書の取扱規程があると思うので、そちらにそって対応してほしい。書籍については、基本、改訂前のものは処分して構わない。職務上、何か困った場合、また、さまざまな根拠を確認したい場合には、学校保健に関する通知・書籍・資料等で確認をする。

所管事項で伝えた「薬物管理マニュアル〔追補版〕」は更新済。

Q 災害時に関すること

緊急対応の準備やシステム、地区内の連絡手段、養護教諭のネットワークについて
(浜松)

A 熱海地区理事（事務局伝達）

○熱海版災害時マニュアル

平成 23 年発行の静岡県養護教諭研究会発行の「養護教諭のための災害対策・支援ハンドブック」をもとに熱海版災害時のマニュアルを作成。

災害時にすぐに使えるようハンドブックについていた資料等を印刷し、クリアポケットに入れファイルにした。ファイルは熱海市養護教諭研修会予算で購入。ファイルには以下のものも入れてある

- ・県作成のハンドブック
- ・静岡大学作成「学校現場・養護教諭のための災害時の心のケアハンドブック」
- ・令和 5 年 3 月 30 日「災害時における子どもの心のケアに係る静岡県版資料」

○緊急災害時用医薬材料等の整備

市の予算で学校規模に合わせてアルミ製の災害時用の救急箱を購入。

基本は各校で使用期限を確認し、医薬材料のローリングストックを行っている。しかし、各校の医薬材料費ではまかないきれないので、数年ごとに養護教諭部会で使用できる予算で必要なものを購入し、入れ替えをしている。

○地区内の連絡手段について

毎年 4 月の研修会で市内養護教諭全員の了承を得て、学校と個人の携帯番号等で連絡網を作成。緊急時等の連絡手段としている。

○研修の一環として

石巻市の学校訪問をし、震災後の防災対策を学んできた。その学びを各校の水の備蓄体制などに反映させた。

伊豆山土石流災害時には、マニュアルが整備されていたため、初期対応に何をすべきかを確認し、災害後すぐに対応することができた。

発災後の職員打ち合わせで教職員に「支援者のための災害時の心のケアハンドブック」の配布（コピー）や健康チェックリストを使用した健康観察や保健だよりを作成し配布することができた。

伊豆山小は、電話やネットなど通信機器がしばらく使用できなかったが、養護教諭同士の携帯番号で連絡網を作成していたため、他校の養護教諭と連絡を取ることができ心強かった。

災害時の心のケアについて養教部で研修をしていたため、緊急対応で入った SC とも素早く同じ目的をもって連携することができた。

※富田教育主幹より：県議会対応として、この会の資料としてまとめた各地区からの質問等を活用させていただくこともある。不都合な場合は連絡をしてほしい。

(6) その他

・研修会報告 「全国養護教諭連絡協議会 第26回研修会（紙面報告）」

・全国小学生歯みがき大会について

中島会長

令和7年度も実施。申し込み締め切りは、令和7年2月28日（金）。

後日配布されるパンフレットにて、詳細を確認してほしい。